

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団みどりの会酒井病院	代表者	長谷川 麻衣子	法人・事業所の特徴	利用者様・ご家族様に最大限活用して頂けるよう、時間延長サービス等を柔軟に受け入れ、医療法人が運営していることから、医療必要度や介護度の高い利用者様の受け入れも実施している。また、通いサービスにおいて、利用者様と職員が様々な行事を通して関わりを多く持つことで、馴染みの関係を築くことを目的に全体で取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホームさかい	管理者	矢野 康行		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	2 人	0 人	1 人	1 人	0 人	13 人	2 人	19 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、申し送りと部署会議を行うことで利用者の情報やニーズを共有し、リーダー業務を行う職員を限定する事で統一感のあるケアを実施する。	リーダー業務実施者を限定する事で、提供するサービス内容の統一を行い、業務改善を検討する事が出来た。	事業所内の事は目にすることが無いので、評価シートでの確認になるが、自己評価が高いので頑張っており、取り組んでいることが分かった。	月 1 回の部署会議だけでなく、1 日 3 回のミーティングで業務についての検討・意見交換の時間を設ける事で業務改善に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、感染予防対策を行い、安心して利用できる環境をつくっていく。事業所内に利用者様の作品を飾る等の環境作りに取り組んでいく。	感染予防対策に注意を行い、感染者が出たが感染増加などは未然に防ぐことができた。環境作りでは、利用者との創作活動での作品を毎月飾ることができた。	推進会議でしか訪問がなかったが、清掃されており、環境は開かれたものとなっている。創作活動やイベントの掲示は家族様にも喜んでいただいている。	利用者の思いを阻害しないよう安全にも配慮し、居心地のよい施設となるよう環境整備する。
C. 事業所と地域のかかわり	職員と地域の方との関わりを持てるように、講演会や地域イベントに参加し地域の方との交流ができる環境を作っていく。外出レクなどを計画し、少人数での関わりを検討する。	職員・利用者と地域の方との関わりを持てるように、ふれあい喫茶に参加し地域の方との交流ができた。外出レクなどを計画し、地域へ出ていく事ができた。	地域のイベントへの参加は、感染予防もあるが、どこの事業所も職員の人出が少なく以前に比べ参加が難しいと聞く、出来る限り参加出来ればよいと考える。	職員と地域の方との関わりを持てるように、講演会や地域イベントに参加し地域の方との交流ができる環境を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染状況を見ながら地域行事の参加、散歩やドライブでも地域に出向く機会を増やす。	地域の行事には参加することができなかった。散歩や外出レクは実施できた。包括や民生委員との共同で利用者の生活の支援体制を築くことができた。	散歩やドライブなど地域に出る機会は時季毎に作る事が出来ていた。老々介護で他に身寄りのない高齢者の今後について検討する事ができた。	基本的なインフル・コロナ感染対策を行いながら、利用者も地域のイベントや行事への参加ができるよう計画する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議で出た意見を事業所会議の議題として取り上げ改善に努める。	会議で頂いた事故の対応策や注意点などを事業所で周知する事ができた。	地域でのイベント開催の情報共有をし、参加出来そうなイベントの検討ができた。	今後も運営推進会議を通して事業所の取り組みや改善点を報告・相談する。

F. 事業所の 防災・災害対策	今後、火災訓練に加え、地震災害などの訓練を合わせて行い、すべての職員が意識でき、有事の際の行動を理解する。	火災時の避難訓練だけでなく水害時の避難として 2 階への移動訓練を実施した。感染時の初動なども確認する事が出来た。	地域でも防災研修・訓練の開催があったが、やはり最低人員での実施となった。有事の際には一時避難所の役割をお願いしたい。	災訓練の実施により、防災意識を高め避難誘導等の練度を深める。また、施設の防災設備の運用理解も高める。
--------------------	---	---	--	--

法人名	医療法人社団みどりの会 酒井病院
事業所名	小規模多機能ホームさかい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日 (14 : 00～15 : 00)
------------------	-----	------------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇
--------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	聞き得た利用者・家族の不安などの新たな情報や変更事項があった際には適宜職員間での共有を行う。(1 日 3 回の申し送り) また、すべての職員が利用者申し送りノートに記載する事でリアルタイムに情報共有する。リーダー業務を行うスタッフを限定することで、統一事項を間違いなく実施できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者・家族の知り得た情報や変更事項は適宜職員間で共有できるように努める事が出来た。 リーダー業務を行うスタッフを限定する事で、適宜業務内容の確認や見直し利用者の情報がまとめやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の変更事項や新たな情報は、1 日 3 回の申し送りや業務日誌等で把握する事ができる。 利用者様への気付きや提案等は、申し送り等でリーダーや主任・所長に報告できている。 利用者様だけでなく家族様の事も考えた声掛けや関わりを持つように努めた。 ご家族の信頼を得る為、送迎時などコミュニケーションを大事に努力している。 送迎時などなるべく家族と会話するように心掛け小規模での様子等話するようにしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用開始前に情報に目を通すが忘れてしまうことが多く都度職員に聞いてしまう、連休明け等で申し送り事項を見逃している時がたまにある。しっかり申し送りノートを見る事が出来ていない。 朝の申し送りができない時がある。(送迎やヘルパーでスタッフの帰所タイミングが合わない) 本人の思いと家族の思いの違いをうまく間をとって関わっていけるか考えながら支援しなければいけない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 継続して、申し送り事項や聞き得た利用者・家族の不安などの新たな情報や変更事項があった際には適宜職員間での共有を行う。加えて、ミーティングの中で事故報告・ヒヤリハットなど更新された情報を共有する時間をつくる。周知・統一事項を間違いなく実施できるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	2 人	10 人	0 人	13 人

前回の改善計画	利用者の目標達成状況や希望など、ミーティングの際に報告し情報の共有を行う。 担当スタッフが「ゴール」や「～したい」「振り返り」を伝達する
前回の改善計画に対する取組み結果	家族や本人の希望を適宜聞き取り、それに対しての取り組みを実施する事が出来た。 ミーティングの際に、利用者の計画目標を共有する事があまり出来なかった。計画目標が事業所内での事が多くなっている為、普段の関わりの中で実施できているが、個別の計画目標の共有が不足している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	4	8	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	4	8	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	3	9	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	5	8	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自分の担当利用者様や小規模を長年利用されている方の目標は理解でき、そのゴールに向かっての支援は実施できている。 したい事や希望される事は利用者様と一緒に考える事は出来ている。 当面の「～したい」については、適宜ご本人の希望にできる限り添えるように努力している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
計画書更新のタイミングで計画目標について話したりそこへのアプローチの仕方は担当職員は検討できているが、担当以外の個別の計画目標について把握できていない。 ミーティングでは、業務の報告や注意事項に時間をかけており、計画目標等の話をする時間をつくる事ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の目標達成状況や希望など、各担当スタッフがミーティングの際に報告し情報の共有を行う。 利用者個別の「目標」や「～したい」を随時、伝達する機会をつくる。 業務の状況によって、朝・昼・夕のタイミングで共有し、実施状況や振り返りもスタッフ全員で検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
3. 日常生活の支援	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	7 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画	利用者担当制となっているので、担当職員が以前の暮らしを聞き取り、職員間で情報共有する。継続として、生活歴や思い出など、新たに知り得た情報はミーティング時に職員間で共有し、アセスメントシートに追加記録することで情報が集約でき、生活歴やご本人の思いを知るツールとして活用できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	生活歴や最近の様子などの聞き得た情報を、適宜ミーティングで話す事は出来ていたが、それをアセスメントシートに追記する事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	0	10	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	9	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	6	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	7	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	9	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族さんとのコミュニケーションの中で知り得た情報や、本人の気持ちや意見があった場合は共有できている。利用者様の状況に応じた基礎的な介護はできている。体調の変化も申し送れている。いつもと違う体調の変化などがあればミーティングでの共有やリーダーに報告し、不安があれば適宜看護師に相談している。	
できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方をより多く知る取り組みが不足している。利用者様本人から情報を聴取できない場合は、ご家族から情報収集するが、送迎のわずかな時間しかお話する事が無い場合が多く、事業所での連絡事項をお伝えするのに時間を使い、生活の様子や昔のことなど十分な情報収集ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続として、生活歴や思い出など、新たに知り得た情報はミーティング時に職員間で共有し、アセスメントシートに追加記録することで情報が集約でき、生活歴やご本人の思いを知るツールとして活用できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	1 人	10 人	2 人	13 人

前回の改善計画	小規模のサービスを利用していない（自宅での）時間をどのように過ごしているか、情報を集めてアセスメントシートに記載する。そこからインフォーマルサービスの継続、介護者や地域との関係が切れないように支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	自宅での時間をどのように過ごしているか、聞き得た情報はミーティングで適宜共有する事が出来たが、適宜追記する事が出来ていない。インフォーマルサービス・地域との関係が途切れないように継続できるように努めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	7	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	5	6	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	7	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	6	5	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用日以外の様子は、送迎時に家族から直接お聞きし、連絡ノートにも記載してくれているので把握できる事が多い。本人・家族との関係については理解しており、その関係が悪化しない様に意識して双方の話を聴くことができている。 定期的に家に帰られる方、そうでない方も家族とお会いした時は、こちらでの様子などお伝えし不安の有無を聞き取るようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様の小規模利用以外の時間については、ほとんどの方は自宅で家族と過ごされているのだろうと、大まかな事を思っているだけであった。現場で働く職員一人一人が、民生委員や地域資源、インフォーマルサービスなどの把握をしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
改めて、各担当職員が意識して情報収集に努める。小規模のサービスを利用していない（自宅での）時間をどのように過ごしているか、情報を集めてアセスメントシートに記載する。そこからインフォーマルサービスの継続、介護者や地域との関係が切れないように支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	6 人	5 人	2 人	13 人

前回の改善計画	小規模のサービスだけで支えようとせず、地域の資源を知り使用できるようにすることで、多様性のある柔軟な支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のコミュニティカフェに出向き、地域イベント・レクリエーションに定期的に参加する事は出来た。時期によっては、公園に外出し散策を楽しんで頂いた。自宅でも屋外に出る事がなかなかできない方が多いので散歩などでもとても喜ばれる方が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	6	6	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	6	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	7	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	6	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の表情や体調の変化に気づきそれを共有できている。その時の体調によってレクや散歩したり静養したりと柔軟な支援が出来ている。 利用者様への気づきや提案等は申し送りなどでリーダー・主任・所長に共有できている 日々の変化に気づきおかしいと思ったことや伝えないといけない事はミーティング等で共有でき、しっかり記録に残せている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域のサービスをあまり把握できていない、コミュニティカフェには参加しているが、事業所へのボランティアなどの受け入れができていない。夏頃にコロナが流行ることがあり積極的にボランティアの受け入れをしていない。地域の公園やスポットに出向くことは実施した。（喫茶店へ行く事など検討中） 本人が嫌がられる宿泊も提供するが、介護者の介護疲れレスパイト目的の為、ご本人にも安心していただける声掛けをしている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
まずは、地域の資源について情報を収集し、必要に応じて活用できるようにしておく。 地域イベントや認知症カフェや独自の支援サービスについて情報を利用者様、その家族にも必要に応じて情報提供を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
6. 連携・協働	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	2 人	8 人	3 人	13 人

前回の改善計画	インフルエンザやコロナウイルスの感染状況をみながら、地域のイベントに参加していく。 また、担当者会議にスタッフも参加し、双方の情報共有をおこなう。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のコミュニティカフェへの参加は出来たが、コロナ感染状況を見て参加を見合わせた事もあった。秋祭りのお神輿など、参加できそうな地域活動には参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	3	5	5	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	7	6	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	3	8	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	4	9	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の活動では、コミュニティカフェに月 1 回は参加できている。 同法人の病院や居宅、サ高住、ヘルパー、訪問看護等とは密に連携をとることができており、入退院時のスムーズな対応や当事業所への突然の短期依頼の受け入れなど実施できている。 法人内の託児所の子供が、事業所を訪れることはある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
包括支援センター主催の勉強会や地域の病院主催のカフェ講習会には、参加することができたが頻度は多くない。地域住民の方の訪問はあまりない、利用者様の家族や利用検討されている見学者、他市の民生委員の方々が来訪される程度となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケアマネ・看護師のみではなく、介護スタッフも担当者会議に参加の機会をつくる。 時期によっては、病院や施設への訪問人数の制限がかかることがあるが、まずは一般スタッフが会議に参加することで、本人・家族と意識して関わっていくことに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
7. 運営	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	1 人	5 人	7 人	13 人

前回の改善計画	利用者家族からの意見や苦情について、職員全員で把握し対応を検討する。事業所として利用者・家族に安心して利用して頂けるように努める。 地域との協働については、民生委員や家族からのボランティアの希望があった際には受け入れを行い、地域の意見や協働した取り組みを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者家族からの意見や苦情について、適宜職員で共有し検討できている。事業所として利用者・家族に安心していただけるように努める事ができた。 地域の専門学校からの看護実習の受け入れを毎年行っており、今後介護実習生の受け入れを予定。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？	3	7	1	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	7	1	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	5	2	3	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	1	7	4	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所全体として、提案や意見は言いやすい環境にあり、また様々な意見や提案を聞く事もできている。 利用者・家族からの意見や施設に対しての意見も報告する事が出来ている 苦情などがあればすぐに報告し改善策をたて共有する事が出来ている 看護実習生の受け入れを行っている。今後介護実習生の受け入れを予定	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方からの意見や苦情としては、運転マナー、送迎時の駐車位置についてがあり、情報共有し対応できた、その程度の把握となっている。 地域と協働した取り組みができていない、地域に必要とされる拠点である為の取り組みは、関連する事業所への対応可能なサービスの情報提供のみとなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者家族からの意見や苦情について、職員全員で把握し対応を検討する。利用者様やご家族には、適宜ご意見がないかお聞きすることで、苦情に繋がらない様にする。また、実習生や来訪者にも、気になったところなど意見の聴取を行うことも検討する。 事業所として利用者・家族に安心して利用して頂けるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	6 人	3 人	3 人	13 人

前回の改善計画	スキルアップの為に外部研修に参加できるように、情報提供や自身での情報収集を行う。 また、事業所でも有休を使用して参加する等、参加しやすい環境を整える
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修の情報を提供することで、興味を持った研修に参加する職員が昨年よりも増えた。集合研修や ZOOM があり、ZOOM 研修が参加しやすい様子であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	9	2	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	5	5	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	10	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	6	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内の研修に参加する他、職場外の研修に参加しスキルアップのための勉強をすることができた。 外部研修に参加はしていないが、ネットでの研修（介護技術等）に参加しているスタッフもいる。 ヒヤリハットや事故報告の内容を把握しりすつくマネジメントできている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新しい情報が出てるのに気づいていない時があったり、どこでどのように開催されているか調べていない。 調べてまで研修に参加しようという意欲が無い。 休みの予定を優先してしまう事や、子供や親の用事があり時間が会わず参加出来ないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スキルアップの為に外部研修に参加できるように、情報提供や自身での情報収集を行う。 また、研修に参加しやすい環境を整える	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024 年 10 月 11 日（14：00～15：00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	矢野・石田・熊谷・田坂・藤井・赤松・鈴木・森澤・井上・大林・福山・坂本・寺脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	10 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	成年後見制度の把握、虐待の研修 認知対応の研修を行うことで、人権に対しての意識を持ち適切な対応に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待や身体拘束の研修で、サービス提供の中で意識することができた。 成年後見制度については、市の後見支援センターに繋げる事で、制度の理解・検討をしていただく事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8	5	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	2	10	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	4	2	7	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待の研修を受け適切な対応が出来ている、ミーティングでも個人情報の対応に注意ができている。 成年後見制度について、必要とされる方には、その活用の為市の後見支援センターに繋げる事ができ、制度の理解をしていただき、検討された。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
脱衣場やトイレのドアが開いたままになっている事がある。（利用者様の羞恥心に配慮する意識が低いとかなじる。トイレ時フロアの様子を見ながら介助する為、ドアが開いたままになっている。） 利用者スタッフで慣れた環境で話をしているが、他人からすればその方の個人情報になっている。 周りの方に聞こえる大きさで、トイレ誘導の声掛けをしてしまう。 （トイレは嫌でなくても、「パット」や「オムツ」は聞かれたくない、と思うので配慮して介助支援を行う。）	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
成年後見制度の把握、虐待の研修 認知対応の研修を行うことで、人権に対しての意識を持ち適切な対応に繋げる。事業所内で、ご利用者の尊厳が守られるような関わりを意識できるよう研修を行っていく。	